



そら よしひで しみんそうせいかい
空 美英 [市民創世会]



鯖江駅東口開発計画について

問 鯖江駅周辺のにぎわいづくりについて。

答 市長 市商工会議所、観光協会を中心に、商店会の皆様をはじめとする市民の皆様と幅広い視点でのまちづくりを協議中。

問 今後の鯖江駅東口・西口開発の進め方は。

答 事業費高騰等のため整備計画を再検討中。年度内に報告書をまとめる予定。駅舎内については、令和7年1月にセブンイレブンに代わりファミリーマートが開店予定。2階のtetoteを1階に移転。今後は駅前ビル空き店舗への店舗誘致や東口の魅力づくりを検討する。



とうい ただよし しせいしんふうかい
東井 忠義 [市政新風会]



公益通報者保護制度について

兵庫県知事の報道を通し、公益通報者保護が注目されている。鯖江市においても、平成30年9月鯖江市社会福祉協議会において問題を内部通報したが、令和4年3月第三者委員会で事実認定されるまで、通報者は役員から組織を混乱させる者として誹謗中傷を受けた。今回、公益通報者保護制度の重要性に鑑み質問した。

問 組織の中では、不正な行為をしたり、不正を隠蔽したり、通報者に対し攻撃、不利益処分を行うようなことが今でもある。国はそれを防止するため、平成16年に公益通報者保護法を制定した。市に内部公益通報者保護制度はあるか。

答 本市の内部公益通報者保護制度については、平成20年4月から事務処理要領を策定し運用している。



たなか よしゆき そうそう
田中 良幸 [創造]



嚮陽会館の改修事業について

問 3つの機能を今の建物に入れ込むことに無理は。

答 市長 市が初めて取り組む複合化施設。ホール機能を中心とした文化的な要素、新たに導入する子どもの遊びと学びの要素、市民活動の要素、この3つが一体となった施設になる。そこに多様な皆さんが集い、市のランドマーク的な施設として、ここから新たな「つくる文化」が生まれ、ひとづくり、ことづくり、支え手づくり、ものづくりやまちづくりにも寄与するような施設にしていく。

問 まだ数字が生煮え状態だが。

答 市長 今、基本設計中である。今年度中に設計を終える。そこでいろいろな数字が出てくる。中途半端に説

問 これまで使った事業費6,000万円の使用用途は。

答 議会や市長との語り合う会、座談会等で説明済み。

問 高速バスの鯖江駅東口乗り入れについて。

答 県内外の運行会社に打診中だが、運転士不足等で難航中。実現に向けて努力する。

文化の館について

問 文化の館について、車椅子・高齢者用の手すりが短く、屋外トイレがないという声があるが。

答 市としては、利用者から手すりが短いという意見や屋外トイレ設置の要望も受けていない。

問 文化の館の柱の汚損やタイル剥がれを早急に修理すべきでは。

答 中長期的な大規模な修繕については、数年後の改修時に対応していく。

問 市に指導等の権限がある業務について、公益通報を受け付け対処する外部公益通報に係る制度はあるか。

答 本市の外部公益通報者保護制度については、平成18年4月から事務処理要領を策定し運用している。

問 公益通報者保護制度が鯖江市にあることは周知されていない。公益通報者保護制度を広報、周知することについてどのように考えているか。

答 この制度を市民、市職員に周知徹底するとともに、ホームページなどを通じて、市民の皆様に広くお知らせし、公正で公平な市政運営に注力していく。

意見 公益通報者は、いまだ組織の裏切り者、または秩序を乱す者として、悪人のごとき扱いを受けることがある。しかし、公益通報制度は、組織の改革や自浄効果を生み出す有効な仕組みである。不正な行為に悩み苦しんでいる人のために、公益通報者保護制度を十分周知されたい。

明すると、数字が独り歩きして、市民の人にも誤解を与えてしまう。

職員の人事システムについて

問 他市は3年で部署を変え、それを3回繰り返す、10年のうちに3回部署が変わる仕組みを導入している。“配属ガチャ”があっても、3年で確実に異動できるというのはかなり大きい。3年だけと歯を食いしばっている人も、4年、5年となると心が折れ、やっぱり辞めたとなることが多い。強制的に3年に一度変えるような仕組みの明文化、導入の考えは。

答 市長 明文化、制度化する予定も今のところない。ただ、現状は10年で3回以上異動できた職員がほとんど。そういうふうにしていかなければと考えている。職員が楽しく働いて市民サービスを十分に提供できる、そんないい職場づくりをしていきたい。